

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	りらキッズスタディ東片端		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日 ～ 令和7年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日 ～ 令和7年 3月 8日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンで支援を行い、わからないところはすぐに質問できるような体制を整えている。	前日の支援内容を朝礼で共有し全指導員が一人ひとり課題を把握できるようにしている。	保護者の学習内容に対する質問や意見を聞きながら支援に組み込んでいる。
2	主にパソコンを使い学習するため、書くことが苦手な児童にも取り組みやすい。	パソコン学習、プリント学習ともに内容を充実させ、より理解度が深まるような支援をしている。	集中力が高まるように姿勢や周りの環境にも気を配っている。
3	SNSによる情報共有をしている。	保護者との情報を共有できるように発信を継続している。	事業所での取り組みの様子や支援での様子を知っていただき、子どもが「行きたい」と思えるようにこれからも発信していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが十分とれていないため体を使った遊びは限られてくる。	構造上、変えることができない。	机やテーブルの配置を考えながら、少しでも体を使った遊びが楽しめるように工夫している。
2	個別療育主体の療育のため他児との関わりが薄くなってしまう。	ソーシャルスキルトレーニングや最後のお楽しみの時間には他児と関われるような遊びを指導員が考えていく。	様々な療育が展開できるように学びの機会を増やしていく。
3	事業所内の換気。	なかなか換気がやりづらい面がある。	常に気を配りながら窓を全開にし、サーキュレーターを使用している。